

AI による RESAS を基にした指宿市の「経済循環」「生産分析」結果

指宿市の RESAS（地域経済分析システム）データを基にした「地域経済循環マップ」と「生産分析」の結果を解説します。

指宿市は、「観光」と「農業」という強力な外貨獲得手段を持ちながら、その利益をいかに地域内で循環させるかが課題となっている構造が見えてきます。

1. 地域経済循環マップ（お金の流れ）

地域経済循環マップは、**「生産（稼ぐ）」「分配（所得になる）」「支出（使う）」**の3つの指標で、地域のお金がどこで生まれ、どこへ流出しているかを可視化します。

指標	指宿市の傾向	分析ポイント
生産	高い外貨獲得力	農業（そらまめ、さつまいも、観葉植物）と観光業（指宿温泉）により、市外から資金を呼び込む力が強い。
分配	流出傾向あり	市内で生産された付加価値が、雇用者の給与として住民に還元されているものの、本社機能が市外にある企業の利益などは市外へ流出する。
支出	域内消費の漏れ	生活物資の購入やサービス利用が、近隣の鹿児島市などへ流出（漏れ）しており、地域内での再投資が課題。

結論：指宿市は「稼ぐ力」は非常に高いですが、稼いだお金が地域内で何度も回転せずに市外へ出ていく「バケツの穴」をどう塞ぐかが経済活性化のカギです。

2. 生産分析（どの産業が強いのか）

指宿市の産業構造を、特化係数（全国平均を 1.0 とした場合の値）や付加価値額から分析すると、以下の特徴が際立ちます。

① 強みとなる産業（特化係数が高い）

- **農業（第1次産業）**：全国平均を大きく上回る圧倒的な強み。特に温暖な気候を活かした「冬場の野菜生産」や「熱帯観葉植物」が稼ぎ頭です。
- **宿泊・飲食業（第3次産業）**：指宿温泉を擁するため、宿泊業の付加価値比率が非常に高いです。

② 付加価値の構造

指宿市の付加価値の多くは、**「農業」と「観光（サービス業）」**から生み出されています。しかし、生産分析で見ると以下の弱点も浮かび上がります。

- **関連産業の不足**：収穫した農産物を市内で加工（第2次産業化）して付加価値を高める「6次産業化」の余地がまだ大きく、原材料のまま出荷することで利益を取りこぼしている側面があります。

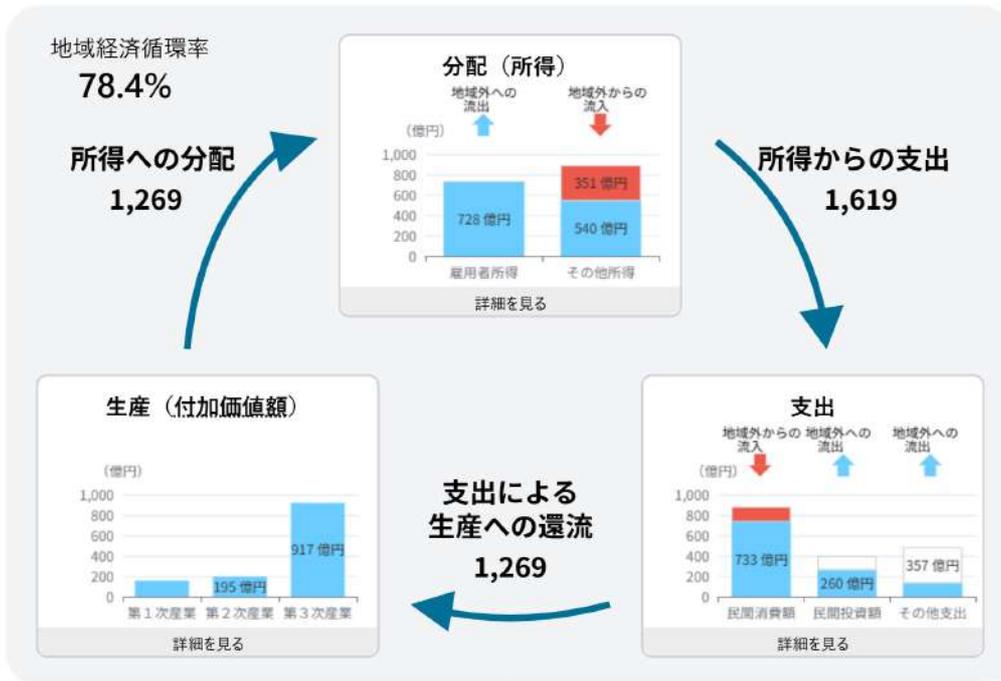
3. 今後の戦略的視点

RESAS のデータを踏まえると、指宿市の経済をより強くするためには、以下の「循環の質」を高める施策が有効です。

1. **観光の域内調達率アップ**：
 - 旅館・ホテルで提供する食材を、さらに地場産（指宿産）に限定・特化することで、観光消費を直接農業所得へ結びつける。
2. **エネルギーの地産地消**：
 - 豊富な地熱資源を活かし、エネルギー代金を市外（電力会社）へ支払うのではなく、地域内で賄うことで支出の流出を抑える。
3. **デジタル通貨・アプリの活用**：
 - 現在市が取り組んでいる「いぶすきさんぽアプリ」などを通じ、市内加盟店での消費を促進し、地域内での「お金の回転数」を上げる。

地域経済循環分析

2022年
指定地域:鹿児島県指宿市



【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

[地域経済循環分析（環境省）](#)

【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<https://www.vmi.co.jp/reca/>

「地域経済循環率」とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等により構成される。

「其他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「其他支出」は、「政府支出」+「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合（域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合）は、「其他支出」の金額がマイナスとなる。

「支出流出入率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

本データは国民経済計算、県民経済計算、国勢調査、経済センサス等のデータを用いて、全国の市町村のデータを統一的方法で作成している。

国民経済計算や県民経済計算は、精度向上を目的に推計方法については絶えず見直しを行っている関係上、随時、過去に遡って改定がなされるため、本データのデータ更新時には、これまで公開していた数値から変化する場合があります。

付加価値額（一人当たり）

2022年
指定地域:鹿児島県指宿市

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	401万円	882万円	750万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	362位	895位	1,226位

所得（一人当たり）

2022年
指定地域:鹿児島県指宿市

	雇用者所得	其他所得
所得 (一人当たり)	191万円	234万円
所得 (一人当たり) 順位	1,447位	786位

支出流出入率

2022年
指定地域:鹿児島県指宿市

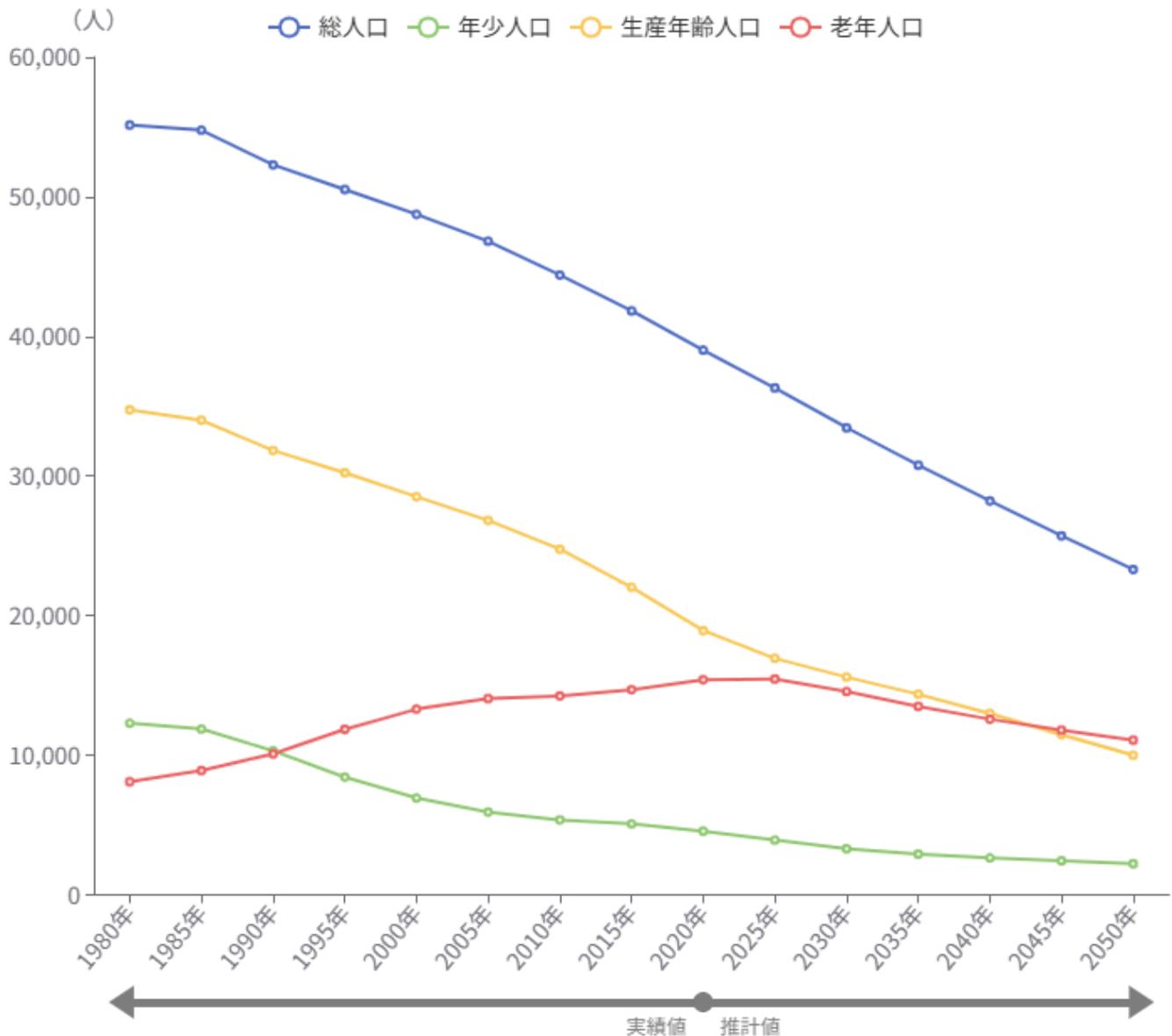
	民間消費	民間投資	其他支出
支出流出入率	20.1%	-35.1%	-73.4%
支出流出入率 順位	256位	1,407位	1,011位

地域ビジネス環境分析シート

鹿児島県指宿市

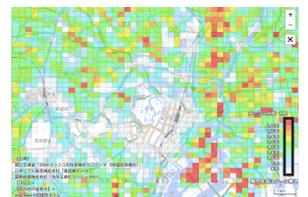
① 将来の人口増減

	2020年	→	2050年	増減数	増減率
総人口	39,011人	→	23,308人	-15,703人	-40.3%
年少人口	4,554人	→	2,227人	-2,327人	-51.1%
生産年齢人口	18,928人	→	9,999人	-8,929人	-47.2%
老年人口	15,411人	→	11,082人	-4,329人	-28.1%



★ マップで将来の人口増減エリアを確認したいとき

⇒ [将来人口メッシュ分析](#)をみる



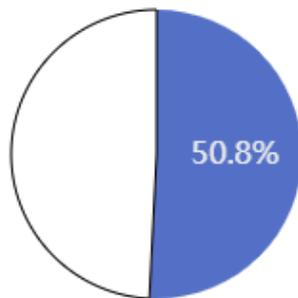
地域ビジネス環境分析シート

② 業種別の事業所数・従業者数

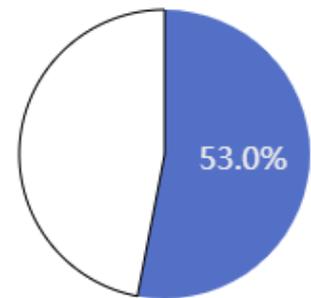
～人口増減によって影響を受ける生活関連ビジネス～

	事業所数			従業者数（人）		
	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減
I_各種商品小売業	1	3	↗	77	83	↗
I_織物・衣服・身の回り品小売業	30	29	↘	106	86	↘
I_飲食料品小売業	187	158	↘	1,308	1,522	↗
I_その他の小売業	215	170	↘	1,011	715	↘
M_飲食店	186	174	↘	865	745	↘
M_持ち帰り・配達飲食サービス業	25	24	↘	126	133	↗
N_洗濯・理容・美容・浴場業	183	155	↘	463	364	↘
N_その他の生活関連サービス業	20	20		128	98	↘
N_娯楽業	23	26	↗	240	186	↘
O_その他の教育，学習支援業	63	54	↘	161	201	↗
P_医療業	113	102	↘	2,503	2,306	↘
P_社会保険・社会福祉・介護事業	71	85	↗	1,393	1,622	↗
	⋮	⋮		⋮	⋮	
※全産業（公務を除く）に占める割合	52.9%	50.8%		52.1%	53.0%	

全産業（公務を除く）
に占める事業所数の
割合（2021年）



全産業（公務を除く）
に占める従業者数の
割合（2021年）



★ 各業種における業界動向を確認したいとき
⇒ [経営環境分析](#)をみる

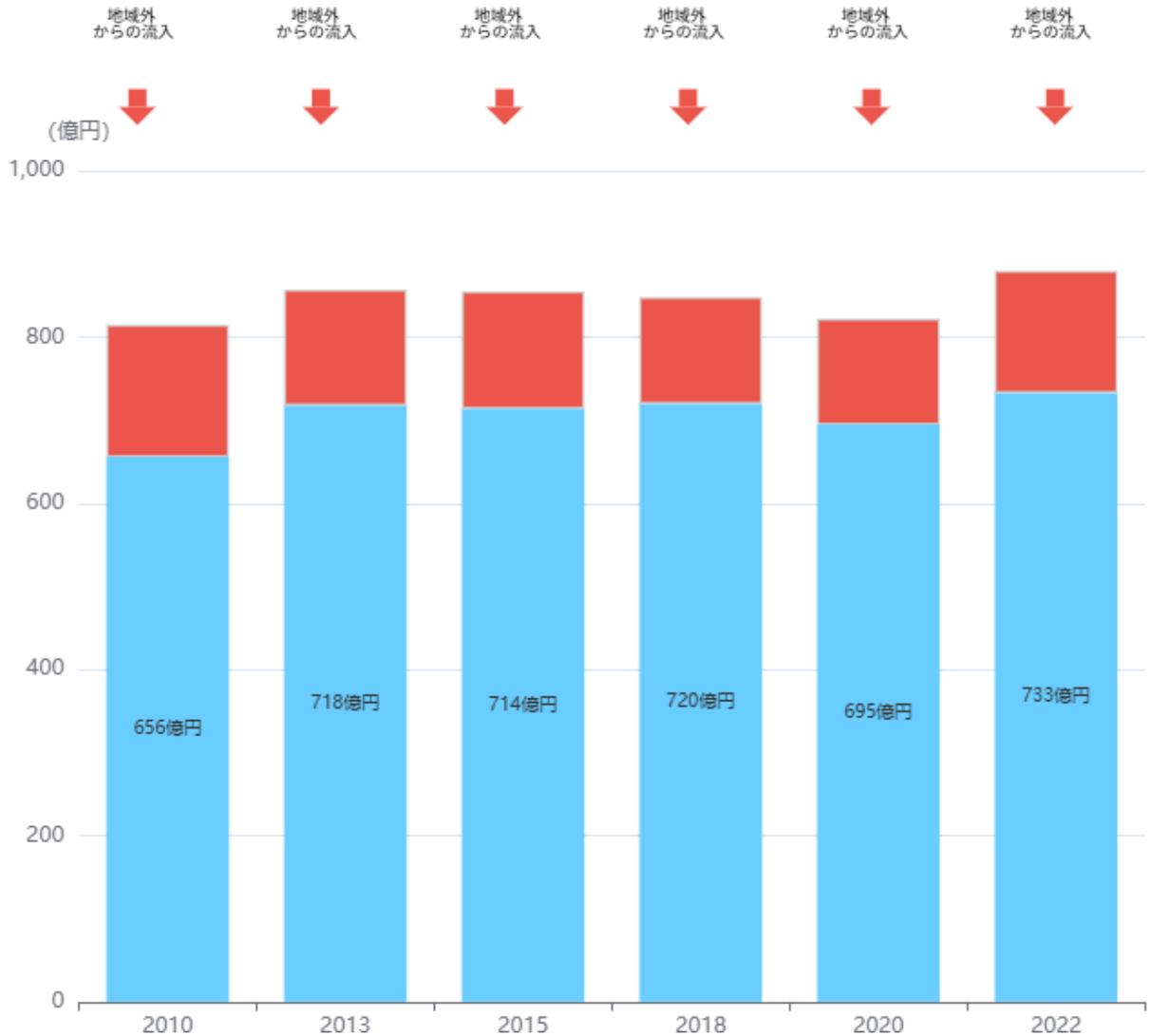


地域ビジネス環境分析シート

③ 地域住民の消費状況

民間消費：住民の所得が地域内で消費されているか

	2010	2013	2015	2018	2020	2022	年
地域内	656	718	714	720	695	733	億円
地域外（流入/流出）	159	139	141	128	127	147	億円
支出流出入率	24.3	19.4	19.7	17.8	18.3	20.1	%



グラフの色について

- 水色：域内で消費された金額を表します。
- 赤色：域外から流入した金額を表します。
- 白色：域外へ流出した金額を表します。

★ 地域経済の全体像を把握したいとき

⇒ [地域経済循環分析をみる](#)

